

第8回 町田市下水道事業審議会 議事要旨

日時：2026年1月29日（木）10:00～11:25

場所：成瀬クリーンセンター 3階 大会議室

出席者：委員 長岡 委員（会長）、市古 委員（副会長）

大久保 委員、鶴川 委員、奥田 委員、入山 委員、
神保 委員、勝山 委員

事務局 西澤（下水道部長）

高田（下水道経営総務課長）、原田（下水道整備課長）、
西澤（下水道管理課長）、松井（水再生センター所長）、
布施（水再生センター担当課長）、小林（水再生センター担当課長）

下水道経営総務課 金子、西山、古賀、能美、小谷
谷、熊谷、中島、高橋

下水道整備課 荒木、北原、村上

下水道管理課 大植、大森、阿部

水再生センター 村野、宮川、田中（功）、湯田、田邊、
宮田、野村、中村

傍聴者： 0名

次第：（1）開会

（2）議案審議

【議案第1号】「未来につなぐ下水道事業プラン」（町田市下水道事業経営戦略）の改定

① 答申書（案）について

- ・ 答申書（案）（1 経営戦略改定、2 使用料のあり方）（資料1）
- ・ 経営戦略原稿案（答申書別冊）への指摘・修正箇所（資料2）

（3）その他

参考資料：経営戦略2024年度進捗状況・評価（資料1-1）

経営戦略2025年度進捗状況（中間確認）（資料1-2）

2024年度町田市下水道事業 経営分析表（資料2）

当日配布：第8回町田市下水道事業審議会 次第

下水道事業審議会 委員名簿

下水道事業審議会 資料一覧

（1）【次第1】開会

事務局から会議の成立を報告するとともに、本審議会の進め方について説明を行った。

(2)【次第2】議案審議

資料1について説明を行った。

■主な質疑応答・意見等

- 資料1の付帯意見の1点目について、ストックマネジメント計画で対象とする事業と災害対策を連携させると表現しているが、実際の見込み等について教えていただきたい。

⇒(回答)地震など自然災害のための調査とストックマネジメントの考え方に基づく調査とでは判定項目が異なるため、今後は双方のリスク予測と項目の洗い出しを行い、連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

⇒(意見)ストックマネジメント計画または予防型保全と災害対策を連携させる方向性で進めてほしい。

- 資料1の4ページの「②の二部使用料制と基本使用料割合の維持」の記載が抽象的で意味が通じにくい。

⇒(回答)詳しい説明が必要かどうか検討する。

⇒(意見)実際の使用料改定にあたっては資料を使って丁寧に説明していただきたい。

⇒(回答)周知をする時は理解が深まるように反映する。

→答申書(案)について、原案のとおり作成することになった。

続いて、資料1別冊について説明を行った。

■主な質疑応答・意見等

- 資料1別冊の44ページの過給式流動燃焼システムに関連し、成瀬クリーンセンターで新技術や民間活力の導入といったことに関して、今後の方向性があるのかを教えていただきたい。また、他のページで触れていることがあれば教えていただきたい。

⇒(回答)過給式流動燃焼システムを導入するにあたって、どういった手法が適切なのか検討し、結果DB方式ということになっている。新しい技術を取り入れていく可能性はあるが、敷地も限られているなかでどういった技術が採用できるのか、という点も含めて検討していく必要がある。経営戦略の他のページでは触れていない。

⇒(意見)事業建設方式ではなく、運用方式として民間活力を取り入れた場合、必ずしもコスト削減だけを重視しなくてもよいと思うが、新技術の開拓や環境への配慮についても表現していただきたい。

⇒(意見)資料1別冊の73ページの民間のノウハウ活用に関して、処理場や管路も含めて、管理・更新一体マネジメントはまだ先のことであるという書き方に感じられるが、その認識でよいか。

⇒(回答)管理更新一体マネジメント方式(レベル3.5)に関しては現在検討中である。管渠についてはレベル3.5は導入できる可能性が高いと考えている。処理場施設については、段階を踏んでレベルを上げていけるよう検討している。

- 市民の方は本編を見る前にまず目次を見ると思う。目次の中に「解説（コラム）」のページについての記載を追加して、市民の方にわかりやすく説明するようにした成果等をアピールしてはどうか。
 - ⇒（回答）目次の中にコラムに関する記載を入れるかどうかについては、全体の体裁をみて検討する。
 - ⇒（意見）変更する場合は、会長に一任するというのでよいか。
 - よい。

- 資料編の用語集において、右側に掲載ページが載っているが、全てのページ番号を載せたり、ひらがなであえて「ほか」という言葉を入れたりする必要はあるのか。
 - ⇒（回答）より分かりやすい用語集にするため、きちんとページ数を提示し、該当が多い単語については、分量も多いため今回のような表記をしている。
 - ⇒（意見）索引のように用語から本文を見る場合もあるので、全てのページ番号を記載した方が望ましいとは思いますが、今回の記載で問題ない。

- 資料1別冊において、全体的に図のタイトルはセンタリングされているが、表のタイトルは左寄せになっている。表のタイトルもセンタリングしてはどうか。
 - ⇒（回答）表のタイトルもセンタリングとする。

- 資料1別冊の17ページの有収率の低下に関する書き方について、有収率低下への取組なども記載した方がよいと思う。
 - ⇒（回答）10パーセントから15パーセントに変更したのは、「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」の改定に合わせている。
 - ⇒（意見）15パーセントまで許容しているということか。
 - ⇒（回答）「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」で地形や老朽化などを勘案して、町田市内は15パーセントと定めているため、町田市はそれを踏襲しているということである。今後は老朽化で有収率が低下することが見込まれるが、今後の対策については第6章に掲載させていただいている。

(3)【次第3】その他

参考資料1-1から参考資料2について説明を行った。

■主な質疑応答・意見等

- 参考資料1-2の2ページ目の一番下の行の内容について、グリーンインフラに関して今後の見込みや取り組みなどがあれば教えていただきたい。
 - ⇒（回答）グリーンインフラという言葉は経営戦略の中では取り上げていない。グリーンインフラに関する取組は、雨水管理総合計画の中に位置付けており、今後も市として取り組んでいく。

続いて、事務局から、今後の予定について報告を行った。

続いて、事務局から事務連絡を行った。

閉 会